

目 次

政策提言の概要	1
はじめに	2
第1章 我が国の製造業をめぐる状況	
1. 我が国のものづくり産業の推移	3
2. 中小企業の現状と取り巻く環境	5
第2章 課題克服のための「共同受注」	
1. 打開の方向性	10
2. 突破口としての「共同受注」	13
第3章 「共同受注」事例研究	
1. 実地調査の実施	16
2. 調査のまとめ	19
第4章 政策提言 ～共同受注の推進に向けて～	
1. 共同受注を推進する6つのポイント	23
2. 共同受注を推進するにあたっての4つの視点	24
3. 政策提言	24
4. 政策提言のまとめ	30
おわりに	30

【概要版】「共同受注」による地域産業の活性化

～ 中小ものづくり企業の果敢な挑戦！ ～

日本のものでづくり産業をとりまく現状

新興工業国の経済発展

新興工業国GDPシェア
(2009) 34% → (2014) 39.9%

生産年齢人口の減少

(1995) 8,700万人【ピーク】
(2020) 7,300万人▲ 16.1%

既存産業の海外移転

中国の日本企業の法人数
(2001) 1393社 → (2009) 3089社

既存の産業集積を活かしつつ、成長産業への再構築が不可欠

このための最適手法「共同受注方式」

「共同受注」とは：複数の企業によって構成された組織をベースに、業務を共同で受注し処理すること。

するとどうなる？

- ① より複合的で高度な部品生産が可能となる。
- ② 大手メーカーに直接アプローチ可能となる。

⇒ 新たな成長分野へ参入できる！

「下請けからの脱却、自らの意志と責任による挑戦」



中小企業の果敢な挑戦を支援

政策提言

提言1

機運の醸成

- 戦略プランの策定
- 共同受注参加への動機付け

提言2

組織づくり

- 組織の設立を支援
- 組織の基盤強化を支援

提言3

組織の発展

- 組織の自立化を支援
- 組織の販売力強化を支援

困難に挑戦する積極的な姿勢

共同受注による
成功体験



地域に元気を波及させる

